

経済・金融 フラッシュ

中国経済：10月の製造業PMI ～生産指数が大幅上昇、供給過剰のリスク も今のところ小さい

経済研究部 上席研究員 三尾 幸吉郎

TEL:03-3512-1834 E-mail: mio@nli-research.co.jp

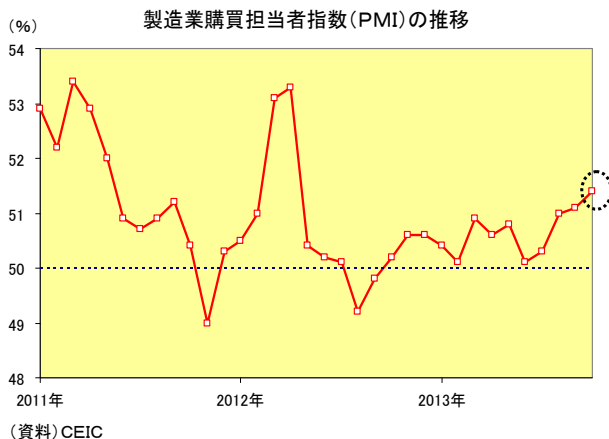
- 10月の製造業購買担当者指数（PMI、季節調整済）は51.4%と9月の51.1%から0.3%ポイント上昇、拡張・収縮の分岐点となる50%を13ヵ月連続で上回った。
- その他では、新規輸出受注指数が50.4%と0.3%ポイント低下、完成品在庫指数が45.6%と1.8%ポイントの大幅低下、生産経営活動予想指数が57.5%と0.9%ポイント低下となった。
- 新規受注が鈍る中での生産の大幅上昇には供給過剰のリスクを感じるものの、完成品在庫が大幅低下したところを見ると、供給過剰から生産に急ブレーキが掛かるリスクは当面小さい。

【 総合指数は0.3%ポイント上昇 】

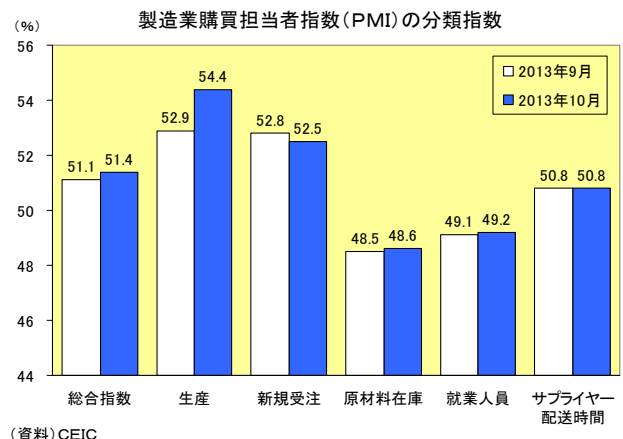
11月1日（金）、中国物流購買連合会と国家统计局サービス業調査センターは10月の製造業購買担当者指数（PMI、季節調整済）を発表した。それによると、10月の総合指数は51.4%と9月の51.1%から0.3%ポイント上昇、7月以降4ヵ月連続で前月を上回る結果となった。また、拡張・収縮の分岐点となる50%を13ヵ月連続で上回った（図表-1）。

図表-2 に示した分類指数を見ると、25%の比重を持つ生産指数が54.4%と前回より1.5%ポイントの大幅上昇、30%の比重を持つ新規受注指数は52.5%と前回より0.3%ポイント低下、原材料在庫指数、就業人員指数、サプライヤー配送時間指数（逆指数）に大きな変化はなかった。

（図表-1）



（図表-2）

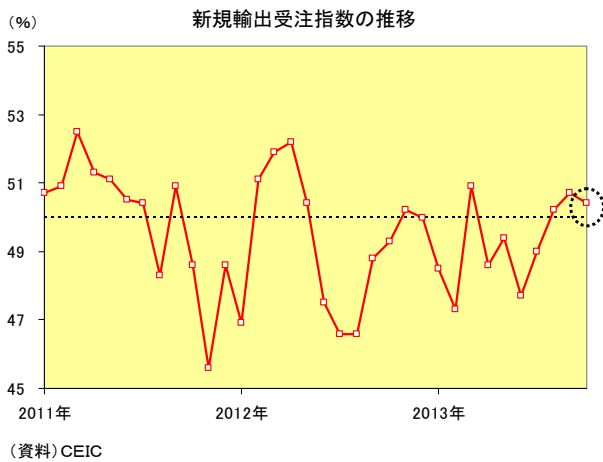


【 新規輸出受注や生産経営活動予想には陰りが見える 】

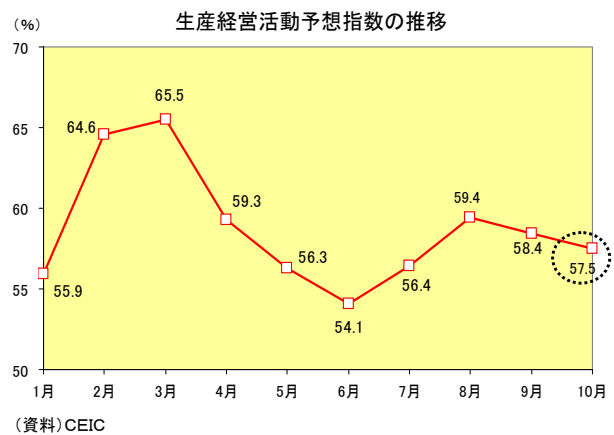
総合指数に含まれないその他の指標を見ると、輸出の先行指標として注目される新規輸出受注指数は3ヵ月連続で50%を上回ったものの、前回の50.7%から50.4%へと0.3%ポイント低下しており、輸出はやや伸び悩みそうである（図表-3）。

また、今後3ヵ月以内の生産経営活動に対する楽観度を示す生産経営活動予想指数は57.5%と前回の58.4%を0.9%ポイント下回り、8月の59.4%をピークに2ヵ月連続で低下、製造業の楽観度にはやや陰りが見えてきた（図表-4）。

（図表-3）



（図表-4）



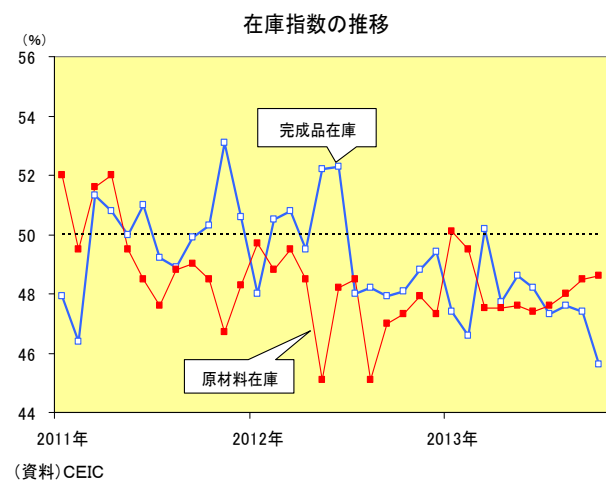
【 供給過剰のリスクも今のところ小さい 】

10月の生産指数が大幅に上昇したことで、11月9日（土）に発表される工業生産も、9月よりも伸びを高める可能性が高まってきた。

一方、内外新規受注や生産経営活動予想に陰りが見られる中で、生産指数が大幅上昇したことには、供給過剰のリスクを感じるだろう。

しかし、図表-5に示したように、完成品在庫指数は45.6%と前回の47.4%から1.8%ポイントの大幅低下となっており、原材料在庫指数も9ヵ月連続の50%割れであることから、意図せざる在庫の積み上がりは今のところ無さそうである。従って、現時点では供給過剰から生産に急ブレーキが掛かるリスクは小さいと考えるのが妥当だろう。

（図表-5）



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。